



揮毫 伊藤茂男氏
 鎌田地区
 平成30年7月1日現在
 世帯数 8,974 戸
 男 9,989 人
 女 9,570 人
 発行者 鎌田地区公民館
 公民館報編集委員会

井川城保育園が開園

70余年の歴史ある中条保育園が園舎の老朽化に伴い、井川城下区に「井川城保育園」として移転新築しました。4月4日に開園し、5月15日には竣工式を行い、住民向けの内覧会も開かれました。



井川城保育園の建設については、平成23年頃から動きが始められました。国史跡指定の「井川城跡」に隣接しているため、埋蔵文化財の発掘調査を行うこととなり、その結果、建設は2年の延期を余儀なくされ今日の開園となりました。

敷地面積は約3795平方メートルと広く、園舎は木造2階建て一部鉄骨造です。120人規模ですが、7月現在84人の園児が在籍しており、常勤の先生13人で保育しています。太陽光発電設備と給食用昇降機を導入したほか、市内では初めて全保育室にエアコンを設置しています。

園長の宮澤かつ恵先生に今後の抱負や課題について語っていただきました。

中条保育園は小規模園だったので、園のみんなが常に交流できる環境で過ごしてきました。中規模園の井川城保育園となって園児数は増えましたが、今までと変わらず、誰とでも声をかけやすい雰囲気づくりに心がけて「仲良しの輪」を引き継いでいきたいです。

未満児の受け入れ人数も増え

1トールと広く、園舎は木造2階建て一部鉄骨造です。120人規模ですが、7月現在84人の園児が在籍しており、常勤の先生13人で保育しています。太陽光発電設備と給食用昇降機を導入したほか、市内では初めて全保育室にエアコンを設置しています。



広い園庭で遊戯する子どもたち

園長の宮澤かつ恵先生に今後の抱負や課題について語っていただきました。

中条保育園は小規模園だったので、園のみんなが常に交流できる環境で過ごしてきました。中規模園の井川城保育園となって園児数は増えましたが、今までと変わらず、誰とでも声をかけやすい雰囲気づくりに心がけて「仲良しの輪」を引き継いでいきたいです。

未満児の受け入れ人数も増え

ました。保育室の環境は整って、広い空間で子どもたちがのびのびと遊ぶことができます。小さい子どもたちがいつでも安心して遊べるよう、さらに園づくりの工夫をしていきたいと思っています。

園では「健康な子ども」「自分を大切に育てる子ども」「豊かな表現する子ども」を目標に掲げ、保育しています。笑顔あふれる子どもたち、地域の皆さんにも知っていただき、福祉ひろばや児童センターなどの広場と行き来できるような交流を深めたり、地元町会の運動会などにも参加して繋がりをつくっていきたく思います。

児童虐待があったり、待機児童の増加が社会問題になるなど、昨今は子どもにとって厳しい環境も見られますが、「子どもは宝」であり、井川城の歴史遺産に囲まれた園舎で明るくのびのびと育ってほしいと思いました。

鎌田小で七夕人形づくり

6月18日、鎌田小学校の2年生5学級150人が、松本地方伝統の紙雛形式の七夕人形づくりに取り組みました。

今回の七夕人形づくりは、鎌田小学校コミュニティスクールの学習支援事業の一環として、地区内の民生児童委員や日赤奉仕団、健康づくり推進員などから募ったボランティア18名が、講師として数名ずつ学級に入って指導にあたりました。

七夕に人形を飾るのは、松本地方と兵庫県の一部だけに残る珍しい風習です。各学級では、まず、講師から松本地方の七夕について話を聞き、織姫と彦星のお話はみんな知っていました。七夕の行事食「ほうとう」を食べた経験はあまりないようでした。

その後、折り紙や千代紙などを切り分けて作った細かなパーツのついたボランティア特製の七夕人形キットを使って紙雛を作り出しました。講師の説明を聞いて、折ったり、貼ったりの作業を真剣に進め、一時間半ほどで一体目の紙雛が仕上がりました。

子どもたちは「少し難しかったけど、上手にできた」と自分だけの七夕人形にご満悦でした。さらにもう一体を仕上げ、男女一対の七夕人形を完成させ、学校や家に飾るのを楽しみにしていました。



●鎌田地区球技大会の成績●

第61回鎌田地区球技大会が7月8日と15日の両日、鎌田地区体育協会主催で開催され、300人を超える選手たちが町会対抗で熱戦を繰り広げました。



種目	優勝	準優勝	3位
野球	両島	井川城下	笹部
卓球	両島	南原	鎌田
ソフトバレー	ブロンズ	南原	征矢野
	シルバー	高宮	月見町
メットゴルフ	男性	南原	両島
	女性	月見町	征矢野
総合	両島	南原	征矢野

街かどのお話 142

高宮北公園でラジオ体操



高宮町会 長井 洋八郎

高宮北公園で毎朝6時半から10分間、NHK第一放送に合わせてラジオ体操をします。常連の参加者は10人ほど、両島・征矢野・笹部・井川城・鎌田・高宮町会などから体操を目的で集まります。ほかにも犬の散歩やウォーキングの途中で立ち寄る人もいて、小学校の夏休みには公園近くの小学生たちも一緒に参



加してくれれます。一年365日、朝6時半になればラジオ体操の音楽が公園の片隅に流れます。特に指導者がいるわけではありませんが、参加者それぞれがマイペースで体操をすることで、一日の始動にあたってのウォーミ

●鎌田地区公民館 館報編集委員会の紹介●

- 公民館報の企画や取材執筆をしていただく、館報編集委員の皆さんを紹介いたします。
- ◎ 松川 靖彦 (高宮)
- ◎ 小林 嘉美 (弥生町)
- ◎ 南雲 多榮子 (月見町)
- ◎ 松本 捷幸 (両島)
- ◎ 小山 淳一 (井川城中区)
- ◎ 小林 睦和 (笹部)
- ※ 順不同・敬称略
- ※ ◎ 委員長
- 全市版担当併任

ングアップになり、日頃の健康維持にもつながっています。公園でラジオ体操を始めて10年が経ちました。平成18年春から週に一度、公園の草取りやゴミ拾い、トイレ掃除を続ける地元の有志たちが、朝の時間を有効活用するために「公園でラジオ体操をしようか」と話をしたのが今に至るきっかけです。ラジオ体操の集まりには、グループの名前が付いているわけでもなく、何の制約もありません。朝6時半に来ていただければ、誰でも参加でき、出欠席も自由です。朝の清々しい空気を吸って体を動かすと、気分は爽快です。ぜひ一度、気軽にお出かけください。お待ちしております。



両島の道祖神

鎌田地区の発展など、当地の歴史や文化を多角的に採り上げていく予定です。お宝マップ』掲載の文化財を実際に見て歩いたり、戦後の鎌田地区の発展など、当地の歴史や文化を多角的に採り上げていく予定です。

鎌田お宝講座 スタート!!

5月28日、鎌田地区公民館文化委員会主催で「鎌田お宝講座」の第1回を開催しました。講師の窪田雅之さん(重要文化財馬場家住宅館長)から「道祖神って何だろう?」のテーマで、鎌田地区にある道祖神をはじめとする松本平の道祖神信仰について分かりやすい講義があり、好評でした。

雑感

この度、縁あって鎌田地区公民館報の編集委員に加えていただいた。笹部に生まれ育った私にとって鎌田小・中学校を中心としたこの鎌田地区はまさに故郷▼半世紀以上も昔のことになるが、約3kmの道を小中学校へ通った。征矢野の道祖神のあたりがほぼ中間点で、そこから学校までは田んぼの中の道。若い皆さんには想像出来ないだろうが、レンゲの赤紫・早苗の緑・稲穂の黄金色・雪原の白等々四季それぞれに美しかった。下校時の寄り道は普通のこと、豊かな自然が何処にでもあり、動植物などあらゆるものが興味の対象だった▼行動範囲は鎌田地区全体に及び、奈良井川も遊び場だった。子どもながらに縦と横の関係が分かっている、上級生を慕い下級生を庇うのが当たり前で、喧嘩はあっても、いじめなどというものはない。良きにつけ悪しきにつけ鎌田地区も大きく変貌している▼公民館報の編集を通して、この地域の歴史を紐解き、未来に想いをはせる楽しい仕事になりそうだ。少しでもお役に立てればと思っている。(小林 睦和)